

第1号議案

平成29年度

事業報告（案）

財務諸表（案）

（平成29年1月1日～12月31日まで）

公益社団法人 競走馬育成協会

平成29年度

事業報告（案）

（平成29年1月1日～12月31日まで）

公益社団法人 競走馬育成協会

平成 29 年度 事業報告 (案)

公益社団法人競走馬育成協会

概況

平成 29 年度の中央競馬はダービーや有馬記念を中心に 1 年を通じて順調に推移し、発売金は対前年比 103.0%、6 年連続で増加という良好な成績であった。

育成業界が注目している 2 歳トレーニングセールは、北海道トレーニングセールが好調でトレーニングセール全体の成績としては平成 28 年をわずかに上回った。JRA ブリーズアップセールを除いた集計で、上場頭数は減少したが売却頭数は前年並みであったため売却率は上昇し、売却総額や平均価格はほぼ前年並みであり、盛況な市場を維持しているといえる。

このような情勢の中、当協会は平成 29 年度も様々な事業を展開してきた。

育成技術講習会については、平成 29 年より JRA が主体となって東西のトレーニングセンターで実馬を使ったデモンストレーション形式の講習に形を変えて、多くの馬関係者に興味深い題材を提供し、幅広く聴衆を惹き付けて大変な盛況ぶりであった。

就業者参入促進事業 (BOKUJOB) では、就職協定の動向などを考慮したメインフェアの 6 月開催や乗馬関係者への広報相談コーナーの充実、あるいは SNS の展開といった施策を含めて、関西フェアの開催、牧場見学会や牧場で働こう体験会の実施、ウェブサイトの充実等が 1 年を通じて間断なく運営された。

競走馬育成技術表彰では、近年会員育成馬の優勝する競走の該当率が高い状態を維持しており、会員牧場の育成技術の確かさが示されている。また、開催場表彰の対象となる重賞 2 歳ステークス競走では全 6 競走のうち 5 競走において会員の育成馬が優勝し表彰を受けた。

その他にも、修学奨励金交付、海外派遣研修、競馬関連機材の有効活用、利子補給、リース事業仲介、情報誌発行等の広範囲の事業を展開した。

1. 軽種馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導

1) 育成技術講習会の開催 (公益事業)

軽種馬の生産、育成、調教に関する知識と技術の向上を目的とした講習会を当協会の全 5 支部で開催した。開催にあたっては広く一般にも参加を呼びかけ、日本中央競馬会 (JRA) 及び公益財団法人軽種馬育成調教センター (BTC) との連携・共催で実施した。

北海道支部では「アメリカ流ブレイキング初期育成法の特色」についてアメリカでの長期研修から得た生産育成の場に求められる内容について講演を実施し好評を得た。また、関東と関西支部では平成 28 年に講演形式で実施した「乗馬における馬術技能を競走馬における調教技術へ応用して馬術と競馬の融合を図る」という題材について、平成 29 年から JRA が主体となり、実馬を使ったデモンストレーション形式での講習会に形を変え東西のトレーニングセンターで春秋 2 回ずつ実施し、幅広く聴衆を惹き付けて大変な盛況ぶりであった。講習の様子は協会のホームページから動画配信するとともに資料の添付も実

施して、参加できなかった一般の方々に向けても広く普及に努めた。

支部	開催日時／場所	講習内容	講師	参加者
関東	6月1日 美浦トレセン	競馬術－騎座の作り方と 効用	北原広之氏／JRA 馬事公苑	220名
関西	6月8日 栗東トレセン	競馬術－騎座の作り方と 効用	北原広之氏／JRA 馬事公苑	193名
東北	9月14日 八戸家畜市場	米国の生産・育成・セリ の現状	遠藤祥郎氏／JRA 日高育成牧場	39名
九州	9月27日 JBBA九州種馬場	米国の生産・育成・セリ の現状	遠藤祥郎氏／JRA 日高育成牧場	29名
北海道	10月26日 新ひだか町公民館	米国流ブレーキング初期 育成法の特徴	遠藤祥郎氏／JRA 日高育成牧場	216名
関東	11月9日 美浦トレセン	競馬術－馬上で馬と良い 関係を築こう	北原広之氏／JRA 馬事公苑	150名
関西	11月16日 栗東トレセン	競馬術－馬上で馬と良い 関係を築こう	北原広之氏／JRA 馬事公苑	200名

2) 競走馬育成調教技術表彰事業（共益事業）

競走馬の育成調教の技術向上を図り、育成調教者の基盤強化及び意欲増進を図るため、優秀な競走成績を収めた競走馬の育成調教者に対する表彰を実施した。

表彰対象 507 競走のうち 284 競走において会員の育成馬が優勝し表彰された。2歳新馬競走で 76.8%、2歳重賞競走で 88.9%という依然として高い表彰該当率を維持しており、全体でも 56.0%という高い水準となった。これは 284 勝という数字とともに平成 18 年に現行の表彰対象競走となって以降、最高の表彰該当率と表彰該当競走数であった。このことは各牧場の努力の成果であり、当協会育成牧場を経由することが新馬や重賞競走の勝利に結びつくことを表しているといえる。

また、競馬施行場で育成協会会長賞表彰を実施する重賞 2歳ステークス競走 6 競走（札幌・函館・新潟・小倉・京王杯・デイリー杯）については、対象の 6 競走中 5 競走で当協会会員の育成馬が優勝しウイナーズサークルにおける表彰を受け、2歳重賞競走における会員の高い表彰該当率を裏付けている。

対象競走	平成29年			平成28年		
	競走数	表彰件数	表彰率	競走数	表彰件数	表彰率
2歳新馬競走	233	179	76.8%	231	164	71.0%
3歳新馬競走	53	37	69.8%	55	41	74.5%
2歳重賞競走 ※1)	18	16	88.9%	18	13	72.2%
障害重賞競走	10	0	0.0%	10	1	10.0%
3歳以上重賞競走	114	32	28.1%	114	40	35.1%
3歳以上平地オープン競走 ※2)	79	20	25.3%	79	16	20.3%
計	507	284	56.0%	507	275	54.2%

※1) 2歳重賞指定交流競走（地方競馬施行）の4競走含む

※2) 3歳限定オープン競走を除く

2. 軽種馬の育成調教に関する調査及び研究（公益事業）

軽種馬の育成調教技術の向上と牧場環境の改善を図るため、新入会の牧場について実態、人材、施設等に関する調査を実施しデータを蓄積した。一方、過去に実施した牧場経営等に関する調査報告については、引き続き当協会ホームページに掲載して情報発信している。

3. 軽種馬の育成調教に係わる人材の確保・養成に関する支援（公益事業）

1) 生産育成調教牧場への就業者参入促進事業（BOKUJOB）

軽種馬の生産育成調教分野で働く人材の確保を目的とし、多くの若者に生産育成調教の現場を紹介することによって就業者の参入を促進するため、当協会を中心にJRA・BTC・公益社団法人日本軽種馬協会（JBBA）・一般社団法人日本競走馬協会の5団体で牧場就業促進事務局（BOKUJOB事務局）を構成して各種事業を展開した。

① 牧場就業促進ウェブサイトの運営

BOKUJOBのウェブサイトは、就職先としての生産育成牧場の認知や牧場での仕事に関する情報の提供を目的に平成22年に開局された。近年は実利用者数に比べて延べ利用者数に減少傾向がみられている。

仕様変更後の検索ソフトを利用して平成25年以降の利用状況を解析すると、実利用者数は平成28年に約9万人に迫るまで増加してきたが、延べ利用者数については平成27年に16万人に達したものの平成29年にかけて徐々に減少してきた。このことは実利用者数が安定しているのに、再び訪問する者やサイト内の他のページを閲覧して滞在する者が減少していることを表している。また、平成27年からスマートフォン用サイトを開設したこともあり、利用者数のうち半数以上がスマートフォン利用者となっており、その利用者数は減少していなかった。

年度	延べ利用者数	実利用者数	スマホ利用者数 (内数)	スマホ利用率
平成 29 年	133,912	81,357	54,151	66.6%
平成 28 年	148,923	88,473	54,641	61.8%
平成 27 年	160,488	87,994	51,302	58.3%
平成 26 年	157,194	54,585	28,722	52.6%
平成 25 年	107,935	28,345	11,494	40.6%

② BOKUJOB メインフェア 2017 (東京競馬場)

就職協定の変更や高校生の就職活動の動向を考慮して、平成 28 年からイベントを 6 月に集中開催することとした。したがってメインフェアは、G I 安田記念施行週に同時期同場所で開催した。

少子高齢化による若年層人口の減少、有効求人倍率の上昇といった昨今の日本においては、どの業界においても労働力確保が深刻である。そのような逆風の中、対象参加者数は前年より若干減少したものの、SNS 等で若年層に向けての広報展開したことや大学生の就職活動解禁直後ということもあり、滞在時間が長く目的に真摯な参加者の本気度が垣間見えるイベントとなった。

- ・ 6 月 3~4 日 (土・日) 東京競馬場 フジビュースタンド 1 階イーストホール
出展 27 牧場・JBBA・BTC・装削蹄協会・日本軽種馬青年部連絡協議会
静内農業高校教諭の進路指導・競走馬のふるさと案内所

年度	対象者 (高校・大学他)	保護者 学校関係者	見学者	受付来場者 合計
平成 29 年	103	44	48	195
平成 28 年	123	61	70	254
平成 27 年秋	86	34	200	320

③ BOKUJOB 関西フェア 2017 (阪神競馬場)

G I 宝塚記念施行週に開催日開催競馬場で実施される BOKUJOB 関西フェアは、関西地区での BOKUJOB 活動として定着しつつある。このことから平成 29 年の関西フェアも、牧場との直接対話の場としてさらなる認知度の向上を見据え、同時期同場所で開催した。

若年層向けの広報展開に加えて JRA ホームページのトップページから告知を実施したことによる効果は絶大で、対象となる世代の参加者数も増加し、滞留時間が長く熱心な参加者が多い中身の濃いイベントとなっていた。

- ・ 6 月 24~25 日 (土・日) 阪神競馬場 アメニティホール
出展 9 牧場・JBBA・BTC・日本軽種馬青年部連絡協議会

年度	対象者 (高校・大学他)	保護者 学校関係者	見学者	受付来場者 合計
平成 29 年	78	45	71	194
平成 28 年	69	48	57	174
平成 27 年	69	45	118	232

④ 広報&相談コーナーと PR ブース

広報&相談コーナーとしては、平成 28 年から乗馬に携わる関係者へ BOKUJOB 活動を拡大展開し、より馬に係わる人々に牧場での仕事内容や生活等への理解を浸透させるため、平成 29 年は栗東トレーニングセンターでの開催を新たに加え、以下の各会場にブースを設置し BOKUJOB 活動の広報や牧場業務に関する相談等を実施した。

- ・栗東トレーニングセンター 馬に親しむ日 5月3日 来場者 30名
- ・御殿場インターハイ馬術会場 7月24~26日 来場者 20名
- ・宮崎育成牧場 馬に親しむ日 8月27日 来場者 12名

さらに、ジョッキーベイビーズには多くの馬関係者が関与していることから、平成 28 年よりジョッキーベイビーズに協賛することにより関係者に BOKUJOB 活動を拡散するとともに、その当該節開催日には一般来場者向けにも広報&相談コーナーを開設した。

- ・東京競馬場 10月7~8日 来場者 43名 (ジョッキーベイビーズ協賛)

また、フェアを開催する地域から離れた場所の潜在的ニーズの掘り起こしのために、各競馬場にブースを設置して BOKUJOB 活動の広報や牧場業務に関する相談等を行なう活動を、平成 29 年も継続して実施した。

- ・中京競馬場 7月16~17日 来場者 45名
- ・札幌競馬場 8月13~14日 来場者 36名 (JBBA・BTC 研修案内)
- ・小倉競馬場 9月3~4日 来場者 43名

一方、中山競馬場 JRA ブリーズアップセール・札幌競馬場北海道トレーニングセール・ノーザンホースパークセレクトセールといったセリ市場の際に PR ブースを設置し、BOKUJOB 活動の広報や PR を実施した。

⑤ 牧場見学会

関東関西それぞれの地区ごとに一般公募で参加者を募り、若手従業員との質疑応答等を交えた牧場見学会を土曜日に日帰りで実施した。

例年各地区 25 名程度であった参加者数を、平成 29 年は可能な限り増大させた。

- ・関東地区 3月4日 参加者 28名
協力：ビッグレッドファーム銚田、KS トレーニングセンター、松風馬事センター
- ・関西地区 3月11日 参加者 30名
協力：グリーンウッド・トレーニング、信楽牧場、ノーザンファームしがらき

⑥ 夏休み牧場で働こう体験会

全国公募で参加者を募り夏休み期間を利用して、牧場での就業体験・体験乗馬・BTC 研修体験学習・JBBA 研修見学・スタリオン見学等のカリキュラムを5泊6日で実施した。なお、平成28年から牧場体験滞在を2泊とし、体験受入牧場を静内地区にも広げており、平成29年も同様に実施した。

・7月30日～8月4日 参加者17名

体験受入牧場：杵臼牧場、宮内牧場、谷口牧場浦河育成センター、様似町軽種馬共同育成センター、グランド牧場、岡田牧場目名共同トレーニングセンター

2) 担い手育成事業

生産育成調教の牧場で働く意欲ある人々に必要な馬に関する知識と技術を習得させ、牧場就労担い手としての能力を開発し向上させるため、研修機関への修学や海外研修への派遣を援助した。

① 修学奨励金交付事業

BTC が実施する育成調教技術者養成研修の平成29年度入講生3名とJBBA が実施する軽種馬生産育成技術者研修の平成29年度入講生1名に対して、修学奨励金を交付した。

② 生産育成技術者海外派遣研修事業

生産育成技術者養成機関の卒業生を対象とした研修は、BTC からの推薦者5名をアイルランド競馬学校（RACE）に約3か月間（5月11日～8月7日）派遣した。

長期研修としては、会員牧場の従業員1名について、フランスに約1か月間（7月15日～8月16日）派遣した。

短期研修としては、会員及び会員牧場の従業員等6名をイギリス・アイルランドに8日間（11月5日～11月12日）派遣して、生産育成牧場、種馬所、厩舎、競馬場、競馬学校等で研修を実施した。

4. 軽種馬の育成調教に係わる競争力の向上に対する支援（共益事業）

1) セリ市場の振興

若馬育成調教の成果がセリ市場取引に反映されるように、2歳トレーニングセールへの支部による後援等を実施した。

2) 育成調教施設等の整備に対する助成事業

① 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業

育成施設等の整備のために会員が借り受けた資金の利子負担軽減を図るため、公益財団法人全国競馬・畜産振興会から軽種馬生産育成強化資金を受け、平成29年は新規案件6件について銀行申請手続から融資協議会を経て利子補給を開始するとともに、継続案件

2 件についても利子補給を実施した。

② 畜産環境整備リース事業

家畜排泄物適正管理のための施設や機材の貸与によって畜産環境問題に対応するために、一般財団法人畜産環境整備機構の行う畜産環境整備リース事業について、平成 29 年は会員への継続貸付 1 件に関する委託業務を実施した。なお、この継続貸付案件は平成 29 年 10 月までにリース期間を終了し譲渡が行われたため、本事業は終結した。

③ 競馬関連機材等有効活用事業

JRA の施設等で使用を取りやめた競馬関連の機器・資材などを有効に活用するため、平成 29 年は 3 回の抽選会を実施し、ハロー類 6 台、ローラー類 2 台、芝管理機器類 9 台、馬場柵 4 セット、散水車 1 台、トラック 2 台、フォークリフト 1 台、ウニモグ 3 台、トラクター 3 台、ホイールローダー 1 台、モーターグレーダー 1 台の合計 33 件について斡旋を実施した。

④ 畜産近代化リース事業

公益財団法人畜産近代化リース協会の行う畜産リース事業について、平成 29 年は会員から新規案件の申請は無かった。

5. 軽種馬の育成調教に係わる国際交流（公益事業）

競馬先進国との情報交換を進めるとともに、国内や近隣諸国に対して軽種馬の育成調教技術の指導、普及等を通じて国際交流を推進するため、海外派遣研修報告書を発行した。また、情報交換のため関係団体で構成される海外流通促進連絡協議会に参加した。

6. 軽種馬の育成調教に関する情報発信（公益事業）

軽種馬の飼養管理及び育成調教技術の普及並びに改善向上に役立つ情報を提供するため、平成 29 年も機関誌「いくせい」の 55 号（9 月 30 日付）を発刊した。

また、協会ホームページ等を利用して、育成技術講習会の内容等の育成調教に係わる情報を広く一般市民にも閲覧可能な形で発信した。

7. 協会の運営、組織、その他必要な監査等

1) 総会の開催（定時総会）

2 月 24 日 15：00～ JRA 本部 9 階 第 1 会議室

議案：平成 28 年度事業報告及び財務諸表について

平成 29 年度会費等の額及び徴収の方法について
理事及び監事の選任について

2) 理事会の開催

① 第 1 回理事会（定例）

2 月 3 日 14 : 00～ 新橋分館 4 階会議室

議案：平成 28 年度事業報告及び財務諸表について

平成 29 年度定時総会の開催について（日程、場所、提出議案）

総会における議決権行使書及び委任状について

業務委託費の配分方法について

公益社団法人競走馬育成協会職員就業規則の改正について

② 第 2 回理事会（臨時）

2 月 24 日 14 : 00～ JRA 本部 9 階 第 2 会議室

議案：平成 29 年度定時総会の委任状の取り扱いについて

③ 第 3 回理事会（臨時）

2 月 24 日 15 : 50～ JRA 本部 9 階 第 2 会議室

議案：会長理事、副会長理事及び常務理事の選定について

役員報酬額等について

④ 第 4 回理事会（定例）

12 月 8 日 14 : 00～ 新橋分館 4 階会議室

議案：平成 30 年度事業計画及び収支予算等について

⑤ 書面理事会（定款第 41 条）

3 月 9 日 入会の承認 2 件

9 月 11 日 入会の承認 2 件

3) JRA との育成等に関する懇談会

9 月 29 日 10 : 00～ JRA 本部 9 階 第 3 会議室

懇談内容：セリ市場の動向について

育成牧場における人材確保（BOKUJOB）・養成について

育成技術表彰事業について

育成牧場の基盤強化対策について

その他

4) 協会の組織

① 会員数の動向

	北海道	東北	関東	関西	九州	計	賛助会員
平成 28 年 12 月 31 日	85	9	42	28	15	179	8
増加	1	1	1	1		4	0
減少	3	1	2	1	1	8	0
平成 29 年 12 月 31 日	83	9	41	28	14	175	8

② 役員の動向

平成 29 年 2 月 24 日の定時総会において役員の改選が行われ、全員が留任した。

平成 29 年 2 月 24 日以降の役員

会長理事	栗田晴夫	非常勤
副会長理事	佐藤光信	常勤 常務理事兼務
副会長理事	飯田正剛	非常勤
理事	高橋司	非常勤
理事	荻野豊	非常勤
理事	諏訪豊蔵	非常勤
理事	沖崎誠一郎	非常勤
理事	中内田克二	非常勤
理事	柏木務	非常勤
理事	宮島成郎	非常勤
理事	織田信美	非常勤
監事	安達正奉	非常勤
監事	杉野繁治	非常勤

③ 職員等の動向

平成 28 年 12 月 31 日	就任・転入	退任・転出	平成 29 年 12 月 31 日
3 名	1 名	1 名	3 名

5) その他監査・検査等

○ 地方競馬全国協会 (NAR) による監査

7 月 15 日 新橋分館 4 階 会議室

内容：競走馬生産振興事業・軽種馬経営指導研修（人材養成支援）について

○ 日本中央競馬会 (JRA) による監査

9 月 7 日 新橋分館 4 階 会議室

内容：コンプライアンスについて

第1号議案

平成29年度

財 務 諸 表 (案)

(平成29年1月1日～12月31日まで)

公益社団法人 競走馬育成協会

貸借対照表(案)

平成29年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	2,758	20,695	△ 17,937
預 金	43,202,946	31,829,426	11,373,520
未収金	244,926	333,000	△ 88,074
流動資産合計	43,450,630	32,183,121	11,267,509
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付等引当資産	1,611,324	907,417	703,907
特定預金	8,159,020	3,611,322	4,547,698
特定資産合計	9,770,344	4,518,739	5,251,605
(2) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
電話加入権	229,320	229,320	0
その他固定資産合計	229,320	229,320	0
固定資産合計	9,999,664	4,748,059	5,251,605
資産合計	53,450,294	36,931,180	16,519,114
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	32,310,515	22,994,979	9,315,536
預り金	221,449	96,866	124,583
賞与引当金	49,880	46,042	3,838
流動負債合計	32,581,844	23,137,887	9,443,957
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	487,907	0	487,907
退職給付引当金	1,123,417	907,417	216,000
固定負債合計	1,611,324	907,417	703,907
負債合計	34,193,168	24,045,304	10,147,864
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取補助金等	8,159,020	3,611,322	4,547,698
指定正味財産合計	8,159,020	3,611,322	4,547,698
(うち特定資産への充当額)	(8,159,020)	(3,611,322)	(△587,458)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	11,098,106	9,274,554	1,823,552
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	19,257,126	12,885,876	6,371,250
負債及び正味財産合計	53,450,294	36,931,180	16,519,114

貸借対照表内訳表(案)

平成29年12月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金	0	0	2,758	0	2,758
預金	340,061	27,790,903	15,071,982	0	43,202,946
未収金	0	0	244,926	0	244,926
流動資産合計	340,061	27,790,903	15,319,666	0	43,450,630
2 固定資産					
(1) 特定資産					
退職給付等引当資産	805,662	515,624	290,038	0	1,611,324
特定預金	8,159,020	0	0	0	8,159,020
特定資産合計	8,964,682	515,624	290,038	0	9,770,344
(2) その他固定資産					
什器備品	0	0	0	0	0
電話加入権	114,660	73,382	41,278	0	229,320
その他固定資産合計	114,660	73,382	41,278	0	229,320
固定資産合計	9,079,342	589,006	331,316	0	9,999,664
資産合計	9,419,403	28,379,909	15,650,982	0	53,450,294
II 負債の部					
1 流動負債					
未払費用	315,121	27,774,941	4,220,453	0	32,310,515
預り金	0	0	221,449	0	221,449
賞与引当金	24,940	15,962	8,978	0	49,880
流動負債合計	340,061	27,790,903	4,450,880	0	32,581,844
2 固定負債					
役員退職慰労引当金	243,953	156,131	87,823	0	487,907
退職給付引当金	561,709	359,493	202,215	0	1,123,417
固定負債合計	805,662	515,624	290,038	0	1,611,324
負債合計	1,145,723	28,306,527	4,740,918	0	34,193,168
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
受取補助金等	8,159,020	0	0	0	8,159,020
指定正味財産合計	8,159,020	0	0	0	8,159,020
(うち特定資産への充当額)	(8,159,020)	(0)	(0)	(0)	(8,159,020)
2 一般正味財産					
(うち特定資産への充当額)	114,660	73,382	10,910,064	0	11,098,106
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	8,273,680	73,382	10,910,064	0	19,257,126
負債及び正味財産合計	9,419,403	28,379,909	15,650,982	0	53,450,294

正味財産増減計算書(案)

平成29年1月1日 ～ 平成29年12月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減額
I一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	120,000	150,000	△ 30,000
受取入会金	120,000	150,000	△ 30,000
受取会費	5,336,000	5,358,000	△ 22,000
受取会費	5,256,000	5,278,000	△ 22,000
受取賛助会費	80,000	80,000	0
受取補助金等	107,964,921	104,096,039	3,868,882
JRA受取助成金	45,440,962	45,299,652	141,310
全競畜振助成金	7,831,560	3,059,784	4,771,776
NAR受取補助金	54,692,399	55,736,603	△ 1,044,204
特定資産受取利息	90	163	△ 73
特定資産受取利息	90	163	△ 73
雑収益	1,013,713	210,177	803,536
受取利息	499	5,035	△ 4,536
雑収益	1,013,214	205,142	808,072
経常収益計	114,434,724	109,814,379	4,620,345
(2) 経常費用			
事業費	104,021,172	100,262,128	3,759,044
役員報酬	6,359,846	6,763,072	△ 403,226
給与手当	9,563,725	9,621,879	△ 58,154
社会保険負担	2,509,189	2,600,559	△ 91,370
厚生費	54,749	55,954	△ 1,205
役員退職慰労金	400,084	0	400,084
退職給付費用	177,120	210,023	△ 32,903
機材有効活用事務費	100,192	74,924	25,268
育成技術向上推進費	424,819	262,021	162,798
2歳育成馬トレーニングセール推進費	0	0	0
育成情報誌発行費	399,997	402,804	△ 2,807
業務委託費	996,000	996,000	0
育成技術表彰費	17,272,000	17,239,183	32,817
物品費	0	31,104	△ 31,104
光熱水料費	152,594	163,010	△ 10,416
借損料費	2,083,621	2,187,982	△ 104,361
雑役務費	1,003,236	857,024	146,212
利子補給事業費	7,457,324	2,933,443	4,523,881
育成技術者海外研修費	5,045,798	6,807,112	△ 1,761,314
修学奨励金	1,424,501	835,876	588,625
牧場就業促進費	44,777,483	44,747,951	29,532
推進事務費	3,818,894	3,472,207	346,687
減価償却費	0	0	0
管理費	8,590,000	8,161,705	428,295
役員報酬	1,396,063	1,484,577	△ 88,514
給与手当	2,099,353	2,112,120	△ 12,767
社会保険負担	550,798	570,854	△ 20,056
厚生費	12,018	12,283	△ 265
役員退職引当繰入	87,823	0	87,823
退職給付費用	38,880	46,102	△ 7,222
旅費	561,000	433,040	127,960

交通費	19,370	24,042	△ 4,672
図書費	139,600	128,675	10,925
印刷費	17,280	17,280	0
通信運搬費	394,461	298,040	96,421
物品費	0	20,736	△ 20,736
光熱水料費	65,398	69,861	△ 4,463
消耗品費	75,539	55,233	20,306
借損料費	892,981	937,706	△ 44,725
雑役務費	220,222	188,126	32,096
租税公課	0	0	0
雑費	237,772	95,889	141,883
雑損費	176,000	58,600	117,400
会議費	1,605,442	1,608,541	△ 3,099
減価償却費	0	0	0
経常費用計	112,611,172	108,423,833	4,187,339
評価損益等調整前当期経常増減額	1,823,552	1,390,546	433,006
特定資産評価益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,823,552	1,390,546	433,006
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,823,552	1,390,546	433,006
一般正味財産期首残高	9,274,554	7,884,008	1,390,546
一般正味財産期末残高	11,098,106	9,274,554	1,823,552
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	59,240,084	55,151,826	4,088,258
受取補助金	59,240,084	55,151,826	4,088,258
雑収益	161	2,850	△ 2,689
受取利息	161	2,850	△ 2,689
雑収益	0	0	0
受取補助金返還益	0	0	0
受取補助金返還金	△ 148	△ 5,531	5,383
受取補助金返還損	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 54,692,399	△ 55,736,603	1,044,204
当期指定正味財産増減額	4,547,698	△ 587,458	5,135,156
指定正味財産期首残高	3,611,322	4,198,780	△ 587,458
指定正味財産期末残高	8,159,020	3,611,322	4,547,698
III 正味財産期末残高	19,257,126	12,885,876	6,371,250

正味財産増減計算書内訳表(案)

平成29年1月1日 ～ 平成29年12月31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部 取引 消去	合計
	公1	他1			
I一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	28,203	21,316	70,481	0	120,000
受取入会金	28,203	21,316	70,481	0	120,000
受取会費	1,315,288	933,648	3,087,064	0	5,336,000
受取会費	1,235,288	933,648	3,087,064	0	5,256,000
受取賛助会費	80,000	0	0	0	80,000
受取補助金等	68,007,574	32,701,888	7,255,459	0	107,964,921
JRA受取助成金	13,315,175	24,870,328	7,255,459	0	45,440,962
全競畜振助成金	0	7,831,560	0	0	7,831,560
NAR受取補助金	54,692,399	0	0	0	54,692,399
特定資産受取利息	0	0	90	0	90
特定資産受取利息	0	0	90	0	90
雑収益	0	1,013,255	458	0	1,013,713
受取利息	0	41	458	0	499
雑収益	0	1,013,214	0	0	1,013,214
経常収益計	69,351,065	34,670,107	10,413,552	0	114,434,724
(2) 経常費用					
事業費	69,351,065	34,670,107	0	0	104,021,172
役員報酬	3,877,955	2,481,891	0	0	6,359,846
給与手当	5,831,539	3,732,186	0	0	9,563,725
社会保険負担	1,529,993	979,196	0	0	2,509,189
厚生費	33,384	21,365	0	0	54,749
役員退職慰労金	243,953	156,131	0	0	400,084
退職給付費用	108,000	69,120	0	0	177,120
機材有効活用事務費	0	100,192	0	0	100,192
育成技術向上推進事業費	424,819	0	0	0	424,819
2歳育成馬トレーニングセール推進費	0	0	0	0	0
育成情報誌発行事業費	399,997	0	0	0	399,997
業務委託費	0	996,000	0	0	996,000
育成技術表彰事業費	0	17,272,000	0	0	17,272,000
物品費	0	0	0	0	0
光熱水料費	108,996	43,598	0	0	152,594
借損料費	1,488,301	595,320	0	0	2,083,621
雑役務費	611,729	391,507	0	0	1,003,236
利子補給事業費	0	7,457,324	0	0	7,457,324
育成技術者海外研修費	5,045,798	0	0	0	5,045,798
修学奨励金	1,424,501	0	0	0	1,424,501
牧場就業促進費	44,777,483	0	0	0	44,777,483
推進事務費	3,444,617	374,277	0	0	3,818,894
減価償却費	0	0	0	0	0
管理費	0	0	8,590,000	0	8,590,000
役員報酬	0	0	1,396,063	0	1,396,063
給与手当	0	0	2,099,353	0	2,099,353
社会保険負担	0	0	550,798	0	550,798
厚生費	0	0	12,018	0	12,018
役員退職引当繰入	0	0	87,823	0	87,823
退職給付費用	0	0	38,880	0	38,880
旅費	0	0	561,000	0	561,000

交通費	0	0	19,370	0	19,370
図書費	0	0	139,600	0	139,600
印刷費	0	0	17,280	0	17,280
通信運搬費	0	0	394,461	0	394,461
物品費	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	65,398	0	65,398
消耗品費	0	0	75,539	0	75,539
借損料費	0	0	892,981	0	892,981
雑役務費	0	0	220,222	0	220,222
租税公課	0	0	0	0	0
雑費	0	0	237,772	0	237,772
雑損費	0	0	176,000	0	176,000
会議費	0	0	1,605,442	0	1,605,442
減価償却費	0	0	0	0	0
経常費用計	69,351,065	34,670,107	8,590,000	0	112,611,172
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	1,823,552	0	1,823,552
特定資産評価益等					
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	1,823,552	0	1,823,552
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	1,823,552	0	1,823,552
一般正味財産期首残高	114,660	73,382	9,086,512	0	9,274,554
一般正味財産期末残高	114,660	73,382	10,910,064	0	11,098,106
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	59,240,084	0	0	0	59,240,084
受取補助金	59,240,084	0	0	0	59,240,084
雑収益	161	0	0	0	161
受取利息	161	0	0	0	161
雑収益	0	0	0	0	0
受取補助金返還益	0	0	0	0	0
受取補助金返還金	△ 148	0	0	0	△ 148
受取補助金返還損	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 54,692,399	0	0	0	△ 54,692,399
当期指定正味財産増減額	4,547,698	0	0	0	4,547,698
指定正味財産期首残高	3,611,322	0	0	0	3,611,322
指定正味財産期末残高	8,159,020	0	0	0	8,159,020
III 正味財産期末残高	8,273,680	73,382	10,910,064	0	19,257,126

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法について

該当なし。

(2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基き、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付等引当資産	907,417	703,907	0	1,611,324
特定預金	3,611,322	8,159,020	3,611,322	8,159,020
計	4,518,739	8,862,927	3,611,322	9,770,344

5. 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付等引当資産	1,611,324	(0)	(0)	(1,611,324)
特定預金	8,159,020	(8,159,020)	(0)	(0)
計	9,770,344	(8,159,020)	0	(1,611,324)

6. 担保に供している資産

該当なし。

7.補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金	日本中央競馬会	0	45,440,962	45,440,962	0	
助成金	(公財)全国競馬・畜産振興会	0	7,831,601	7,831,601	0	
補助事業費	地方競馬全国協会	3,611,322	59,240,245	54,692,547	8,159,020	固定資産
計		3,611,322	112,512,808	107,965,110	8,159,020	

8.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	54,692,399
受取補助金等計上による振替額	
計	54,692,399

9.保証債務等の偶発債務、関連当事者との取引の内容、重要な後発事象
該当なし。

附属明細書

1. 特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「4. 特定資産の増減及びその残高」に記載しているため記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	46,042	49,880	46,042	0	49,880
役員退職慰労引当金	0	487,907	0	0	487,907
退職給付引当金	907,417	216,000	0	0	1,123,417

財 産 目 録

平成29年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金	手元保管	運転資金として	2,758
	預金	普通預金	43,202,946
		三菱東京UFJ銀行本店	
	未収金	芝税務署	244,926
流動資産合計			43,450,630
(固定資産)			
特定資産	退職給付等引当資産	定期預金	1,611,324
		役員退任及び職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	
		三菱東京UFJ銀行本店	
	特定預金	普通預金	8,159,020
		公益目的事業の用に供している。	
		三菱東京UFJ銀行本店	
その他固定資産	電話加入権	3回線	229,320
		公益目的保有財産であり、公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営の用に供している。	
		上記のうち、	
		公益目的保有財産の期末簿価 114,660	
		その他の事業(相互扶助等事業)及び管理運営の用に供している資産の期末簿価 114,660	
固定資産合計			9,999,664
資産合計			53,450,294
(流動負債)	未払費用	港年金事務所	130,376
		公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営に供する社会保険料の未払分	
		キャノン販売(株)	45,275
		公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営に供する諸経費の未払分	
		ニフティ(株)	6,137
		その他の事業(相互扶助等事業)に供する諸経費の未払分	
		(株)共栄経営研究所	200,000
		公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営に供する諸経費の未払分	
		日本中央競馬会	239,365
		公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営に供する事務所賃料の未払分	
		社台ファーム他	15,936,000
		その他の事業(相互扶助等事業)に供する表彰費の未払分	
		北海道銀行早来支店他	4,754,104
		その他の事業(相互扶助等事業)に供する利子補給費の未払分	
		NTTファイナンス(株)	16,556
		管理運営の用に供している諸経費の未払分	
		日本中央競馬会	4,059,038
		助成金返還分	
		(公財)全国競馬・畜産振興会	6,908,440
		助成金返還分	
		(株)ヨクレンタリース	7,612
		その他の事業(相互扶助等事業)に供する諸経費の未払分	
		(株)ヨクレンタリース	7,612
		公益目的事業に供する諸経費の未払分	
		<未払費用計>	32,310,515
	預り金	役職員	221,449
		社会保険料	
	賞与引当金	職員	49,880
		公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営業務に従事する職員の賞与引当金	
流動負債合計			32,581,844
(固定負債)	役員退職慰労引当金	役員分	487,907
		管理運営業務を執行する役員の退任慰労金の引当金	
	退職給付引当金	職員分	1,123,417
		公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営業務に従事する職員の退職給付金の引当金	
固定負債合計			1,611,324
負債合計			34,193,168
正味財産			19,257,126

監査報告

公益社団法人競走馬育成協会

会長理事 栗田 晴夫 殿

私達は、平成29年1月1日から平成29年12月31日までの平成29年度における監査を実施したので、次のとおり報告します。

1 監査の方法の概要


理事会に出席し理事から業務の報告を聴取して、業務執行の妥当性を検討しました。

また、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録について正確性を検討しました。

2 監査意見

- (1) 事業報告の内容は真実であると認めます。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録は、正しく示していると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

平成30年1月24日

監事 安達 正奉 

監事 杉野 繁治 